

教授 阿部 公一 (Koichi ABE)

研究シーズ

【社会福祉】 【経済・経営・産業】 【社会】
【教育・子ども・心理】 【防災・くらし】

専門

年金教育/キャリア教育

研究キーワード

公的年金/社会保障/社会保険/公共/
キャリアデザイン/教材開発・教授法



研究テーマ

公的年金の秘密を探究し公共とつながろう

研究の概要

大学生に「年金ってなに？」と聞くと、「年を取ったらもらえるお金」という答えが返ってきます。金額は気になるようですが、誰が運営しているのかは関心が薄いようです。個人年金等の私的な年金があるのに、どうして政府が関与する公的な年金を必要とするのでしょうか？

私的な年金に分類される個人年金は金融保険商品であり、民間保険会社等によって販売されています。市場原理を通じた取引なので、商品対価としてのお金を支払うこととなります。たとえどんなに必要としていても、お金を払うことができない者は購入することができません。つまり、経済的弱者の場合、年金という金融保険商品を購入することから排除されてしまいます。

この問題を解決するには、すべての国民を年金制度に加入させる必要があります。国民年金法第8条では、「20歳に達したとき」に、本人自身に加入するか否かの選択の余地はなく、自動的に加入者となることを規定しています。これが、公的な年金にまつわる全員加入の謎解きです。

公的な年金である国民年金には、保険料の未納や滞納問題といった社会的課題が付随します。過去に、厚生労働省年金局主催の「公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会」の構成員を務めた経験から、国民年金に付随する社会的課題を解決するための一手法として、年金広報政策の重要性を認識しています。現在までに、社会的課題の解決に向けて、主に若年層をターゲットに、公的年金の必要性を理解し共感してもらえるような教材を開発してきました。また、所属大学のゼミ生等と年金教育用動画も作成し発信してきました。

#情報の非対称性 #逆淘汰(逆選択) #クリームスキミング #モラルハザード
#年金キャンセル界限 #年金広報 #ナッジ

セールスポイント

- ・指導してきたゼミ生等が厚生労働省年金局主催の「令和の年金広報コンテスト」(動画部門)において、5年連続して厚生労働大臣賞を受賞しました。
- ・「年金ディベート道場」「国民年金加入行動啓発プロジェクト」「年金教育用動画」「国民年金すごろく」「ブラウザゲーム 国民年金かるた」のキーワードを検索してみてください。
- ・これまでに20名以上のゼミ生が日本年金機構に就職しています。

想定される用途・応用例・活用例

- ・高等学校公民科目に関するプログラムや教材開発。
- ・教育用動画の企画構想やシナリオ作成。
- ・大学等におけるキャリア教育科目のプログラム開発。